
霧染探偵事務所

水菊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霧染探偵事務所

【Nコード】

N9786X

【作者名】

水菊

【あらすじ】

私立探偵、霧染秋とその助手の穂高純、浅野瑠璃らが協力して、百人一首が関係している事件を解いていきます。ちょっとドジな宇野刑事も加わって、事件は解決か、それとも迷宮入りか…

人物紹介（前書き）

初めて推理小説を書きます。楽しんで読んでいただければ幸いです。

人物紹介

「霧染探偵事務所」に出てくる主要人物の紹介です。
本編を読む前に、こちらの人物紹介をご覧ください。

霧染秋きりぞめあき

…私立探偵。

性別は男。

好きな食べ物は漬物（自家製）。

穂高純ほたかじゆん

…霧染秋の助手。

性別は男。

頭を使うのは少々苦手だが、体力には自信あり。

浅野瑠璃あさのるり

…霧染秋の助手。

性別は女。

運動は苦手だが、物事を考えるのは得意。

宇野誠司うのせいじ

…刑事。

霧染秋の実力を認めていて、よく捜査の協力を依頼している。
性別は男。

百人一首に籠められた謎々序章

霧染探偵事務所

「いにしえのー奈良の都のー八重桜ー…」
「ハイッ！」

「わが袖はー潮干に…」
「ハイッ！」

「はあー、強すぎですよー、秋さん。」
「そうかい？」
「楽しそうに笑いながら言う秋。」

「だって、下の句を聞く前に、取ってるじゃないですか。」
「まあ、大体の歌は、暗記しているからね。」
「と、少し自慢気に答える。」

「…マジですか。」
「それじゃあ勝ち目ないよ、純。」
横で百人一首の札を詠む瑠璃が小さく笑いながら言った。

「…でも、百人一首って、似たような歌ばかりで、ややこしくないですか？」

「そうですねー。何か秘密があったりして。」
「百人一首には、けっこう前から謎があるって言われているんだよ。」

「…そうなんですか？ぜんぜん知らなかった。」
「例えば、10×10の魔法陣を組むのが本来の姿、とか、いろいろな説があるんだよ。」

「へー、なんか、すごそうですね。」

「ま、小説とかにもよく使われてるし。」

「たとえばなんですか？」

「ん？百人一首は呪い系が多いかな。札にどんな怨みが籠められているか…」

「もういいです。ちょっと怖くなってきました…。」

と、百人一首で盛り上がりつつある事務所に、電話の音が鳴り響く。

P r r r …

「悪いけど、瑠璃、取ってくれる？」

秋が百人一首を片付けながら言う。

「あ、はい。」

「はい、霧染探偵事務所です。」

『あ、みなみ警察の宇野ですが、秋さんはいますか？』

「少々お待ちください。霧染さん、みなみ警察の宇野さんって人からです。」

「はいはい、お電話代わりました。」

秋が電話にでている間、瑠璃と純は秋から少し離れ、背を向けて話した。

「霧染さん、何かやったのかな？」

「まっさかあ。だって仮にも探偵だよ？」

「だよねえ〜」

「コオラ！何を話している！」

2人が内緒話くらいの小さな声で話していると、後ろから秋の音が響いた。

「き、霧染さん…。」

「言っておくが、僕は仮にでなくても正真正銘の探偵だ！」

「……地獄耳…。」

「何か言ったかい？純くん??」

「いえ、何でもありません…。」

「それより霧染さん。電話何だったんですか？」

「ああ、殺人事件の解決を手伝ってくれ、だってさ。ちょっと行って来るな。」

霧染が上着の用意をし始めたとき、瑠璃と純が近くまで寄って、横

に並んだ。

「あの…俺らも一緒に行ってもいいですか？」

瑠璃と純は推理等の手伝いはするものの、現場にはあまり連れて行ってもらえなかったので、今回願い出たのであった。

秋は少し考えてから決断を下した。

「よし！一緒に行くか！」

「ありがとうございます！！！」

秋が笑顔で承諾すると、2人は深くお辞儀して出かける準備をし始めた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9786x/>

霧染探偵事務所

2011年11月8日22時08分発行